

デュン大臣

ガイゼル市長

吉田日本クラブ会長

日本人コミュニティの皆様、また日本ファンの皆様

●本日、第15回目の日本デーが開催されますことを、在デュッセルドルフ総領事として大変喜ばしく思います。開催に漕ぎ着けるにあたり多大な貢献をしていただいたNRW州、デュッセルドルフ市、NRWインベスト、DMT等すべての関係機関の皆様にご心から御礼を申し上げます。また、舞台やテントにおいて、様々な日本の文化や生活について、パフォーマンスや体験イベントを通じ、日本人とドイツの人々との交流の機会を作っていた、日本人コミュニティのボランティアの皆さん、商工会議所や日本人学校の関係者、ここデュッセルドルフまではるばる日本から駆けつけてくれた皆さんに、心からの感謝の意を表します。また、これを陰で支えてくれている、総領事館のスタッフにも、拍手を送っていただければと思います。ありがとうございました。

●日本デーは、今日でこそ、来訪者70万人を誇る、一大イベントとなりましたが、もともとは、ここデュッセルドルフの日本人コミュニティの皆様が、日本とドイツの交流の場を通じ、普段からの日本人社会に対する種々のサポートに対する感謝の気持ちを表すとともに、ドイツ人に日本の文化をより馴染み深いものにすることを目的として始まったという風に聞いております。最初は手作り、ハンドメイドのイベントであったのだろうと想像しますが、これまでに参加された皆様の献身的な努力と積極的な参加の意欲があったからこそ、今日、これだけの多くの人に愛されるイベントに成長したのだと思います。

●折から、今年はノ르트ライン・ヴェストファーレン州の創設70周年、「ドイツ西部における日本」(Japan im Westen Deutschland) というのも既に50年あまりですから、ここNRW州と日本は、長く共通の日々を過ごし、切っても切れない関係になっています。今や日本デーは、当地日本人社会の皆様ひとりひとりが中心となり、主役となって築き上げてきた、日独市民共生の象徴と言ってもよいでしょう。日本人コミュニティのすべての方々の努力がドイツの市民の皆様にご受け入れられたという証拠であり、最近のはやり言葉で言えば「インテグレーションの成功例」と言えましょう。

●最近では、日本とドイツの交流だけではなく、フランス、オランダやベルギー、英国やポーランドからも、参加されるようになっており、日本デーは今や国際交流の場としても定着してきているようです。これは、昨今のグローバリゼーションの反映であるだけでなく、クール・ジャパンの国際化を意味するものとも言えましょう。こうした新しい状況の変化にも対応できるよう、これからも、主役であるコミュニティの皆様が、来年以降の日本

デーを益々盛り上げていただければ幸いです。総領事館はその意味では脇役ですが、皆さんの益々の積極的な活動を、可能な限り側面支援していきたいと思っています。最後になりますが、今年の日本デーの成功、並びに皆様の益々の御活躍・御発展をお祈りして、私の言葉に代えさせて頂きたいと思います。